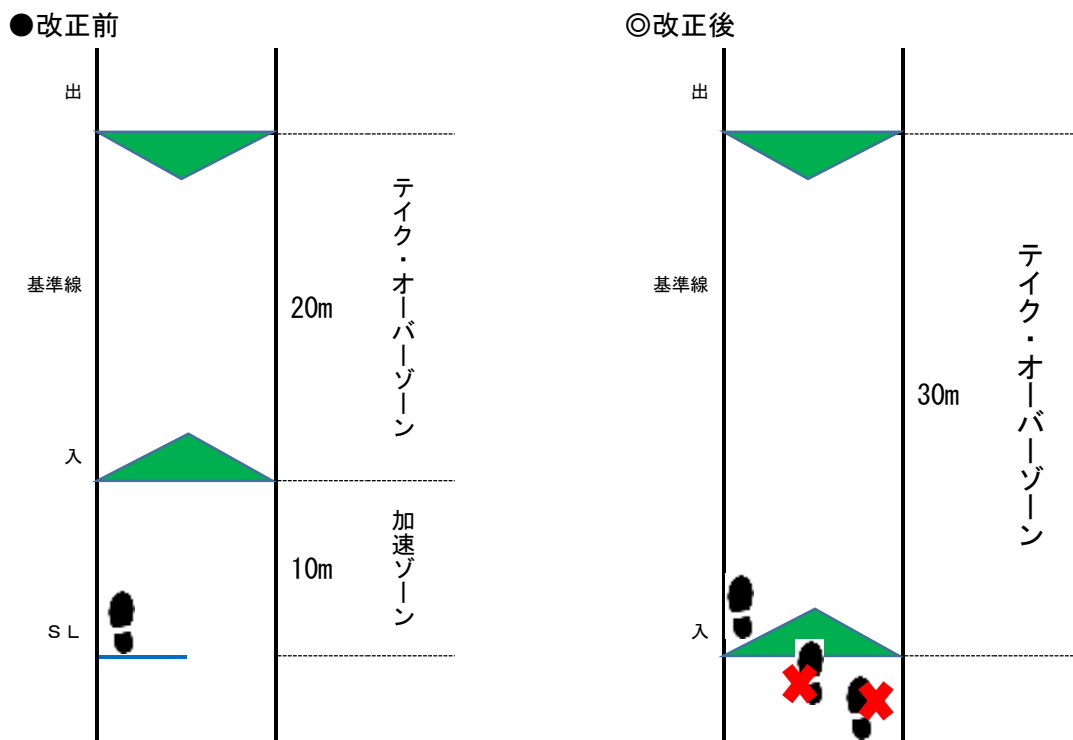


2018 年度 ルール改正概要

青森陸上競技協会 審判部

リレー競技のテイク・オーバーゾーンについて

- ・屋外競技の4×100mRの全て、4×200mRとメドレーリレーの第1→第2走者間、第2→第3走者間のテイク・オーバーゾーンの長さが20mから**3.0m**に変更になります。メドレーリレーの第3→第4走者間、4×400mRおよびそれ以上の距離で行われるリレーでは、20mで変更ありません。(第170条3)
- ・すべてのバトンパスにおいては、テイク・オーバーゾーンの外から走り出してはならず、そのゾーンの中でスタートしなければならない。(第170条19)



既存の競技場は新しい位置にテイク・オーバーゾーン入口のマーキングがありません。改修工事などを行う際に変更していくことになりますが、変更されるまでは、加速ゾーンの入口（通称：ブルーライン）がテイク・オーバーゾーンの入口となります。

リレーのオーダー用紙提出について

- ・リレーチームの編成は、各ラウンドの第1組目の招集完了時刻の1時間前までに正式に申告しなければならない。

一度申告したらその後の変更は、招集完了時刻までに主催者が任命した**医務員の判断**がない限り認められない。各チームは申告された競技者がその順番で走らなければならない。(第170条11)



招集完了時刻前であっても、一度申告した編成の変更（オーダー用紙の差し替え）は認められない。医務員（青森県内の競技会では、看護師が相当する）の判断による変更は出場選手の変更のみ認められ、編成（走る順番）の変更は認められない。

フィールド競技の試技時間について

- ・つぎの試技時間は、超えてはならない。(第 180 条 17)

○単独種目

残っている競技者数	走高跳	棒高跳	その他
4人以上 ※1	30 秒	1分	30 秒
2～3人	1分30秒	2分	1分
1人	3分	5分	—
連続試技 ※2	2分	3分	2分

※1 4人以上または各競技者の最初の試技

※2 走高跳・棒高跳では、残っている競技者が二人以上で、同一の高さの時のみ適用する。

○混成種目

残っている競技者数	走高跳	棒高跳	その他
4人以上 ※1	30 秒	1分	30 秒
2～3人	1分30秒	2分	1分
1人また連続試技 ※2	2分	3分	2分

※1 4人以上または各競技者の最初の試技

※2 残っている競技者数に関係なく適用し、走高跳・棒高跳では高さが変わった場合にも適用する。

●試技時間の延長

走高跳と棒高跳で優勝が決まり競技者が一人になった際

- ・世界記録（日本記録）やその他大会記録等に挑戦する場合、定められた制限時間より **1分延長** しなければならない
- ・別の競技会の標準記録への挑戦は対象外

投てき競技（回転系）の無効試技の判定について

- ・サークル内に入って投てきを始めた後、身体のどの部分でも、サークルの縁枠の上部（上部内側角）あるいはサークルの外側の地面に触れた時。

(追加)

但し、サークルに入り最初の回転動作を行う際に、サークルの中心を見通してサークルの両側の外に引かれた脇の白線より完全に **後方のサークルの外側の地面に足が触れても**、推進力を得ることがなければ **外に出た足が地面に触れる程度であれば、無効とはしない**。(第 187 条 14(b))

競技者に対する助力について

- ・助力とみなされ許可しない。

「転倒後、他の競技者から立ち上がることを手助けしてもらう以外に、前に進むための身体的な手助けを得ること。」(第 144 条 3 に (f) を追加)

- ・助力とはみなされず許可する。

「身体保護及び／あるいは医療目的のあらゆる身体保護具（例えば：包帯・絆創膏・ベルト・支持具、冷却機能付きリストバンド、携帯用酸素ボンベ等の呼吸補助具）。（第144条4(c)に追加

「指定された場所で、あるいは審判長が認めた場合に渡す帽子、手袋、靴や衣類。」

（第144条4に(f)を追加）

跳躍競技のナンバーカードについて

- ・国際、国内ともに、跳躍競技すべてで背または胸につけるだけでもよい

スターティングブロックについて

- ・設置位置

他の競技者を妨害しなければ、「**フレームの後部**」が「**外側のレーンのライン**」からはみ出してもよい。前方（スタートライン）からはみ出しは禁止

フィールド競技の試技回数

- ・走高跳と棒高跳を除くフィールド競技の試技回数は、最大6回を超えなければ、競技会ごとに決めることが可能。

原則・8名超の場合、各競技者は3回の試技、その中で上位の8名は更に3回の試技

- ・8名以下の場合、各競技者は6回の試技

競技注意事項等で規定していれば、次のことも可能

- ・最大試技数6回未満
- ・8名超の場合、前半3回未満
- ・6回試技終了時に同成績の競技者がいれば、順位決定のための追加試技を行ってもよい

●任意の試技回数の設定の場合

<例：前半2回+後半2回>

- ・全員で2回跳んで、トップ8選出
- ・この際、8位に2名がいたら、上位9名で残り2回の試技

●任意で順位決定のための追加試技（6回の試技で同成績の場合）

- ・同順位者以外の順位と記録は確定
- ・順位決定戦で、既に順位が決まっている上位者の記録を上回っても順位が上回ることはない
- ・順位決定戦の記録は別の競技会として記録用紙を作成し申請する

【担当】

一般財団法人青森陸上競技協会

審判部長 小野武則

MAIL : takenori@aomori.email.ne.jp

TEL : 090-2366-5818